

平成2年1月18日発行

その1

NO. 101 泉南走ろう会

連絡告白
社員83.4653
0724

一年の計は元旦にあり

会長 遠 健三

先に機関紙発行100号記念紙には、山田、浅羽西先生より、励ましの御言葉を頂き、また会員各位の皆様より、近況そして、ニロロチ、ミロロチをめざしての、決意の原稿を寄せくださいまして、有難う御座いました。会員の皆様とともに、楽しく読ませて頂きました。編集にあたって、事務局は大変なつたでしょう。何しろ年末、ことのほか、多忙の中、それなりに機関紙を発行せねばならぬし、御苦労の様、厚く御礼申し上げます。機関紙にあるように、公員、各位には、年令、職業、地域、人生経験は、異なれ多様です。また、トレーニングの方針も科学的に行う人、根生一本で行う人、その人達は、ランニングを通じて、共に語り合い、共に苦しみ、ともに笑う、よさしくランニングは人生の友であります。

さて、毎年、一年の計は元旦にありと申して、今年こそは、これを行うと、決意するが、

それが何時のまにか、そんな事、思つたことあつたけなめと、ほそこしまうのが、落す。ランニングは他のスポーツや活動と違つて、走りながら、「自分を見つめる」という事は出来ます。走る目的は、運動、健康、その他、それが目的があるでしょう。たくさん、目的と楽しきと方法を持つことは、大変うれしい事です。走る事は、单调になくな、よつに走るコースも時間も距離も、シカドも服装もフレッシュに自分を見つめて走る。走る仲間も多いほう、毎日がフレッシュになります。

野外を走れば、多くの四季に富んだ変化を見つけるでしょう。そして、ある時は健康を求めて、ジヨンジャーに、ある時は試合大会を目指したレーサーに、ある時は画家として、詩人として、音楽家となる、芸術をぶめて走る。

一年の計は元旦にあり。今年こそは、良き年でありますように。折角、決意表明の日に向ひて頑張りましょう。

阪南駅伝について

参加要項は左記の通り実施したいと思ひます。

駅伝は大変です。選手の皆様、御苦労さまであります。余り無理をしないよう、頑張って下さい。色々用事、都合により来ない方は

参加者

。監督 遠 以コース等は
。一区 5km 川本
。二区 3.7km 佐野
(選手のみ配布)

。三区 西田

。四区 北島

。五区 真鍋

。六区 山瀬

。補欠 吉野谷、井上

受け付け 時半分九時
開会式 九時半分九時
三十五分

※浜寺公園まで石橋、その他、車で参政します。從つて、新家公民館に

応援をお願いいたします。
「人生は意気を感じる」勝負で泣くか、笑つか、阪南駅伝に参加お願ひ致します。
(一)二月十一日(日)、オ四回阪南駅伝
今年も阪南駅伝に参加する事になり、
ました。ナーム名は例年通り、クスノイ
ムでは参加できませんので、「禪ヰ鉄工所」
所属として参加致します。

午前七時集合、出発致します。

尚、当日の食事ですが一人100円を集めて公園近くで食事をとりたいと思ふすが、宜しくお願ひ致します。

続「何故山に登るか」

ある日、新家駅でMさんに会いました。Mさん曰く「あれは何故山に登るかでなく、何故山に登ったかでしょう」と。私は「そうです、あの記事、どうようにとってくだつたならば、えい、山は自分一人の力で登れるものでない、家族の協力、山に関する人々の御指導と御援助により、登れたのです」と、その時は、そう衝撃しましたが、私は常に家語してあります。そして、皆が、ひんしゃくをかてあります。「何故山に登れるか、あれはだよ、金力、暇(時間)、体力だ。体力があても、暇、金力が



なげんば駄目だ。また金力、暇があても、体力がなければ駄目だと。どうすると家内は「何を言っているの、誰の御陰で山に登れたのか」と大きな声あり(正しく違うよ)。まだ或る日、こんな事を工さんに話しました。そうすると、工さん「なんば金力、暇、体力があても山に行き先がなければあかん。ツシ等、そんな所へ行くと思わん」と声あり。参つに〜。一本参つた。正しく正論だと思います。行く気がなければ、駄目です。さて、皆さんは如何がですか。

アルマラン頑張りよしう
練習に励んで下さい。
お知らせ

新入会員紹介

■	梶本邦光さん	住所 泉南市言堂牧
TEL	八三一	
■	園田盛助さん	住所 泉南市八四五



年賀状について

自分が出した空に年賀状の来り人。大者自分が出したり、年賀状のやない人。小者年賀状の来た人にだけ出す人。

積着者

年賀状について

なじゅ



例会

コース 例会
一月二十八日(日)午前九時
泉南市立体育館
皆と相談して決める

